

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	精神保健福祉人材養成等研修事業		担当部局庁	障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	精神・障害保健課 障害児・発達障害者支援室		北島 智子 阿萬 哲也		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会報告書 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	A.精神障害者の地域生活への移行及び地域生活を支えるための適切な在宅医療の提供の確保を図る。 B.依存症回復施設等の質を担保し、依存症への対応力を一層強化する。 C.精神保健福祉士養成担当職員の資質向上を図る。 D.発達障害に関する専門的知識を有する人材を確保するよう努めるとともに、発達障害に関する理解を深め、及び専門性を高める。 E.精神医療審査会の機能強化及び審査充実を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	A.地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。 B.依存症回復施設職員等に対する研修事業を実施する。 C.大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。 D.国が指定した施設において、発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者センター職員等を対象とした実地研修を実施する。 E.審査会委員及び精神保健指定医等に対する研修事業を実施する。  補助率:定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	65	61	53	51	49	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	65	61	53	51	49	
	執行額		31	40	38			
執行率(%)		47.7%	65.6%	71.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	精神保健福祉分野の職員の質の向上のための経費であり、性質上定量的な目標を設定することは困難。 (数値計測困難)		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研修の開催回数 訪問看護研修、依存症研修、精神保健福祉研修、発達障害者支援者実地研修		活動実績	-	31	30	28	-
			(当初見込み)		(24回)	(24回)	(24回)	(24回)
単当たりコスト	a.訪問看護研修 1,040,167 b.依存症研修 4,529,000 c.精神保健福祉士研修 1,395,800 d.発達障害者支援者実地研修 1,000,000 (円/研修回数)		算出根拠	a.訪問看護研修 実績額6百万、研修回数6回 b.依存症研修 実績額5百万、研修回数1回 c.精神保健福祉士研修 実績額21百万、研修回数15回 d.発達障害者支援者実地研修 実績額6百万、研修回数6回				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	依存症回復施設職員研修等事業費	7	7	-				
	精神保健福祉士養成担当職員研修事業費	27	21	か所数の見直しによる減				
	精神科訪問看護従事者養成研修事業費	7	7	-				
	発達障害者支援者実地研修事業費	11	11	-				
	精神医療審査会委員等研修事業	-	4	新規				
	計	51	49					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業では平成23年の精神保健福祉士法施行規則等において、精神保健福祉士養成担当教員及び実習指導者に講習会の受講を求められており、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、質の高い精神保健福祉士を養成するため、国において画一的かつ適切に実施する必要があると考えている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	本事業では平成23年の精神保健福祉士法施行規則等において、精神保健福祉士養成担当教員及び実習指導者に講習会の受講を求められており、そのニーズは高く、優先度は高いと考えている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	本事業は公募及び外部有識者による評価検討会により事業者を選定することで、競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	外部有識者による評価検討会を開催し、事業内容や事業に要する経費の精査を行うことでコストの削減に努めており、水準についても妥当であると考えている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	外部有識者による評価検討会を開催し、事業内容や事業に要する経費の精査を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	発達障害者支援者実地研修事業については、高度かつ専門的な研修を実施できる施設を選定しているため、24年度の執行率は低調となったが、25年度以降は、発達障害施策の底上げが図られていることを勘案すると執行率も改善される見込みである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国において画一的に実施することで、精神保健福祉士の養成に携わる教員等の質が保たれるものとする。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績については見込みどおりであるが、不用が生じている点については、公募により事業者を選定していること、事業内容を精査しているためと考えている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	活動実績である研修の開催件数は、毎年度当初見込みを上回っており、事業の目的を達成していると考えられる。そのうえで、執行の効率化等による予算の執行状況等を踏まえ、要求額の見直しを行うこととした。				
外部有識者の所見					
執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	毎年度恒常的に不用が生じており、執行状況を反映し予算を縮減すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	精神保健福祉士養成担当職員研修事業の開催か所数等を見直したことによる削減。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	868	平成24年	750

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
38百万円

【事業概要】

- A. 地域での精神科訪問看護等(アウトリーチ)による支援技術に関して、指導的な役割を担うことができる看護職、精神保健福祉士、作業療法士等の人材の養成を目的に研修事業を実施する。
- B. 依存症回復施設職員等に対する研修事業を実施する。
- C. 大学等の実習・演習担当教員及び実習施設の実習指導者の資質向上を目的として、講習会及び特別研修事業を実施する。
- D. 国が指定した施設において、発達障害児(者)への専門的な支援を行う発達障害者センター職員等を対象とした実地研修を実施する。
- E. 審査会委員及び精神保健指定医等に対する研修事業を実施する。【26年度新規】



(公募・補助)

A.  
日本精神科  
看護技術協  
会  
6.2百万  
研修業務



(公募・補助)

B.  
久里浜医療  
センター  
4.5百万円  
研修業務



(公募・補助)

C.  
・精神保健福祉士  
協会  
13.4百万円  
・精神保健福祉士  
養成校協会  
7.5百万円  
研修業務



(公募・補助)

D.  
・横浜やまびこの里  
2.6百万  
・アスペ・エルデの会  
1.1百万  
・ほっと福祉記念会  
1.6百万  
・萌葱の郷  
1.2百万円  
研修業務



(公募・補助)

E.  
民間事業者  
研修業務

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.日本精神科看護技術協会			D.横浜やまびこの里		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師旅費	3.1	その他	賃金、消耗品等	1.5
報償費	講師謝金等	1.7	報償費	講師謝金等	1.1
使用料及び賃借料	会場代	0.8			
その他	賃金、消耗品費等	0.6			
計		6.2	計		2.6
B.久里浜医療センター			D.アスペ・エルデの会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	印刷製本費、賃金等	2.0	その他	賃金、消耗品等、印刷製本費	0.6
旅費	講師旅費	1.4	報償費	講師謝金等	0.5
報償費	講師謝金	1.1	旅費	講師旅費	0.02
計		4.5	計		1.1
C.精神保健福祉士協会			D.ほっと福祉記念会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
使用料及び賃借料	会場代	3.7	その他	賃金、消耗品等、印刷製本費	1.1
委託費	発送、入力業務	3.0	旅費	講師旅費	0.3
その他	印刷製本費、賃金等	2.2	報償費	講師謝金等	0.2
旅費	講師旅費	2.2			
報償費	講師謝金	1.3			
役務費	発送料	1.0			
計		13.4	計		1.6
C.精神保健福祉士養成校協会			D.萌葱の郷		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	講師旅費	2.4	報償費	講師謝金等	0.8
使用料及び賃借料	会場代	2.4	その他	備品購入費、消耗品費、通信運搬費等	0.4
報償費	講師謝金	1.4			
その他	印刷製本費、賃金等	1.1			
役務費	発送料	0.2			
計		7.5	計		1.2

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本精神科看護技術協会	精神看護従事者向けの研修事業	6.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	久里浜医療センター	依存症回復施設職員研修等事業	4.5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	精神保健福祉士協会	精神保健福祉士制度に係る実習指導者研修事業費	13.4		
2	精神保健福祉士養成校教会	精神保健福祉士制度に係る教員研修事業	7.5		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜やまびこの里	発達障害者支援者実地研修事業	2.6		
2	ほっと福祉記念会	発達障害者支援者実地研修事業	1.6		
3	萌葱の郷	発達障害者支援者実地研修事業	1.2		
4	アスペ・エルデの会	発達障害者支援者実地研修事業	1.1		
5					
6					
7					
8					
9					
10					